

2020年度 Space Designer 検定試験のテーマを発表  
**「オーシャンビューを楽しめる沖縄のコンドミニアム」が試験テーマ**

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（以下 ACSP）（東京都港区赤坂、代表理事 木下仁）は、2020年度 Space Designer（スペースデザイナー）検定試験のテーマを、「アジアリゾートをイメージした、オーシャンビューが楽しめる沖縄のファミリー向けコンドミニアム」に決定したことを発表しました。

本試験は、国内唯一の「ソフトウェアによる室内空間の3Dパース画とデザイン提案書作成スキルの育成」を目的とした、課題提出方式の試験です。毎年異なる課題テーマと設計図面を出題し、ソフトウェアを使った正確な3Dパース画作成と、テーマに合った、文章や背景、イラストを取り入れた提案書作成の能力を評価します。さらに、1級合格者の中から優秀な作品を、金・銀・銅賞として表彰しています

今回のテーマは、With/After コロナで注目されるワーケーションでの利用を視野に入れたビーチリゾートのコンドミニアムで、“癒し”と“リフレッシュ”をアピールすることが求められます。

2019年度のテーマは「ミッドセンチュリースタイルの女性専用シェアハウスの共用リビング」で、受賞作品を公式 Web で公開しています。  
<https://www.acsp.jp/sd/sakuhin.html>

【Space Designer 検定試験について】(<https://www.acsp.jp/sd/>)

試験方式：課題提出方式

評価方法：評価委員がすべてのパース画および提案書を「評価基準」に基づき総合的にチェックし判定

合格基準：Space Designer1 級 基礎課題の総合評価で 70 点以上、応用課題の総合評価 80 点以上

Space Designer2 級 基礎課題の総合評価で 70 点以上

受験対象者：建築物の内装を設計するのに必要な知識（製図、インテリア）と技能（ソフトウェアを利用した CG パース作成）・空間デザインの表現力を学習している学生、住宅建築・リフォーム関連企業の社員、同企業への転職を希望する社会人

2020年度試験申込期間：2020年11月27日（金）～2021年1月12日（火）

2020年度試験期間：2021年2月5日（金）～2月14日（日）※基礎課題は2月8日（月）までに提出

【一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）について】(<https://www.acsp.jp/>)

ACSPは、1990年の創設以来、受験応募者累計58万人を達成する「CAD利用技術者試験」を主催・運営する非営利法人です。検定を通し、「ITを活用したものづくり人材」と「生き生きと楽しみながら働き、社会で活躍できる人材」の輩出に努めています。

**本件に関するお問い合わせ先**

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP） 担当：中井田 / 佐藤

Email：[acsp\\_press@acsp.jp](mailto:acsp_press@acsp.jp)